

令和6年度指導計画 (美術)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	美術	総時数	35 時間	学年(コース)	3 学年
使用教科書	光村図書『美術2・3』				
副教材等	秀学社『美術資料』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>

3 指導の重点

<p>① 日本美術の古典技法に触れて、体験させる。</p> <p>② 自然の形から作品を生み出す体験をさせる。</p> <p>③ 素材を生かすことからスタートする制作をさせる。</p> <p>④ 人物デッサンでは、特に関節や体の骨格を理解して描けるようにする。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・素材の特質を自分の表現と結び付けている。 ・毛筆の線を引くことができる。 ・彫刻刀で立体的な形を掘り出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆の線と形態との関係を理解し、描くことができる。 ・自然のものの観察の結果を造形的に置き換え、作品作りに生かしている。 ・材料から発想を膨らませ、形にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画、立体、それぞれの造形の違いを認識し、理解しようとしている。 ・日本美術の美しさを制作を通して感じ取ろうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	日本の美術	鳥獣戯画の模写	鳥獣戯画についてのガイダンス。日本の絵巻について。 毛筆による線の練習。墨と筆の扱い方。	3	作品提出
5	日本の美術	鳥獣戯画の模写	動物を筆で描く練習。	3	作品提出
6	日本の美術	鳥獣戯画の模写	背景を描く練習。筆で場面全体を描く。	4	作品提出
7	日本の美術	鳥獣戯画の模写	筆で場面全体を描く。日本の美術の鑑賞。	3	作品提出
8	日本の美術	鳥獣戯画の模写	描いた作品を裏打ちし、展示する。	1	作品提出
9	日本の美術	鳥獣戯画の模写	描いた作品を裏打ちし、展示する。	3	作品提出
10	立体のデザイン	石彫によるペーパーウェイト	立体のデザインについてガイダンス。 植物のスケッチ。	4	作品提出
11	立体のデザイン	石彫によるペーパーウェイト	植物のスケッチを図案化する。石を彫ってペーパーウェイトを作る。	4	作品提出
12	立体のデザイン	石彫によるペーパーウェイト	植物の図案を元に、石を彫ってペーパーウェイトを作る。	3	作品提出
1	立体のデザイン	石彫によるペーパーウェイト	植物の図案を元に、石を彫ってペーパーウェイトを作る。	2	作品提出
2	立体のデザイン	石彫によるペーパーウェイト	やすりがけをして仕上げる。	3	作品提出
3	映像表現	アニメーション映画 「岸辺のふたり」 「アクメッド王子の冒険」	海外のアニメーション映画二本を鑑賞し、表現の中の説明の要素について考える。	2	感想文提出

計35時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

・鳥獣戯画の模写・石彫のペーパーウェイト・人物デッサン

8 担当者からの一言

三年生では、筆で鳥獣戯画を模写したり、石を掘って作品を作ったりと、技術的にも難しい制作になります。それぞれの素材の特徴に触れ、性質を生かす事を考えながら制作してください。

(担当：安田)